

東由利町報

2月

昭和59年

No. 347 昭和59年2月1日発行 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画財政課 毎月1日発行

〈町のスローガン〉 豊かな自然 みんなで拓く町 伸びる町



好評ノ大平スキー場

すでに昨シーズンを上回る利用客

本荘由利地方で唯一ナイター施設を持ち、最も手近なファミリースキー場として町内外から人気を呼んでいる大平。今シーズンは降雪に恵まれ、12月24日のオープン以来、1月いっぱいまで昨シーズンの2万2千人を上回る利用客が見込まれています。

日躍・祭日ともなれば、ゲレンデは、赤や黄、紺などの色鮮やかなスキーウェアに身を包んだ家族連れで大にぎわい。夜ともなれば、水銀灯とタングステン灯がかもし出す幻想的なムードの中、勤めを終えた若者らが、雪煙りをあげながら白銀にみごとなシュプールを描きます。

ヒュッテでは、ゲレンデを一望しながら温かい食事がとれます。

ともすれば、とじこもりがちな冬の生活。ぜひ一度、ご家族連れで白銀の大平にでかけ、雪を楽しんでみてはいかがでしょうか！

“町民の声を町政に”

町長面会日—今月は21日

転作155.6^{ヘク}、他用途米86.94^{トン}

転作配分率は一三・四%

水田利用再編第三期対策

来年度から始まる水田

利用再編第三期対策（五

十九〜六十一年度）の転作等目標面積と政府への事前売り渡し申し込み限度数量が、十二月九日県から示され、本町には転作等目標面積百七十九^{ヘク}（うち十六・四^{ヘク}は他用途利用米、限度数量四千六百^{ヘク}）が配分されました。

これを受けた町は同月二十日、配分方法や推進方法などについて水田利用再編対策協議会に諮り、その結果をもつて同月二十七日、自治会代表者会議で農家別明細を添え、各集落別に転作等目標面積、他用途利用米数量を示し、理解と協力をお願いしました。限度数量については、今春、各農家から転作等実施計画書が提出された後に配分することになっています。

第三期対策で本町に配分さ

れた転作等目標面積は、五十

八年度目標面積より九^{ヘク}、第二期（当初）目標面積より三十二^{ヘク}少ないものになっています。一方、限度数量は、五十八年より三十八^{ヘク}、第二期対策当初数量より百九十三^{ヘク}それぞれ増となっています。自治会代表者会議には、自治会長、協同班長、共済部長の皆さんに参集願ひ、配分方法や推進策などについて説明するとともに、農家別の▽水田面積▽五十九年度転作目標面積▽同他用途利用米数量―を記載した明細書を添えて各

集落別に配分、理解と協力を要請しました。

配分方法は別記のとおりです。

農業生産の再編成

基本線は変わらず

総合的自給力の向上

米の過剰基調を背景に昭和

四十五年から始まった減反政策は、その後、五十三年から米の需給を均衡させながら米以外の食糧農産物の総合的自給力の向上を図るという水田

利用再編対策へと移行、すでに十四年を経過しました。この間、農家、農業団体等の理解と協力を得、毎年目標を上回る実績をあげてきています。しかし、食嗜好の変化等から、長期的には依然として米は過剰基調にあるといわれ、

五十九年度からは、これまでの転作に加え、新たに他用途利用米生産を織り込んだ水田利用再編第三期対策が三カ年にわたって実施されます。

前三カ年間実施された第二期対策を省みると▽管理が不十分で捨て作りと見られるものがある▽飼料作物が有効に活用されていない▽自己完結型が多く、土地の高度利用がなされていない▽作付面積に比べて出荷数量が少ない▽転作に対して意欲的な農家とそうでない農家がはっきり

転作奨励補助金の基本額が十^{ヘク}当たり一律八千円引き下げられ、他用途利用米価格も政府売り渡し米に比べ一俵当たり七〜八千円程度少なくなるといった状況にあることから、こうした転作に消極的な農家の増加が懸念されるところです。

しかしながら、目標以上の転作等を実施しながらなお余り米を生じる現実をみると、農業生産の再編成、食糧農産物の総合的自給力の向上のために転作の推進、定着を図るという基本線には変わりありません。場あたりの対応では、問題の根本的解決には結びつかないと言えます。

米を基幹として歩んできた本町農業、農村構造を変えるにはそれなりの時間が必要なのことも事実ですが、米作が限界に達しているといわれる今日、転作作物の有効利用、換金作物の定着化を図ることは、豊かな農業、農村づくりを進めるうえでの大きな課題のひとつと言わざるを得ません。

このため町では、関係機関、団体と協議、連携を深めながら▽転作団地の育成・援護▽互助制度の推進▽飼料作物の有効利用▽換金作物の作付・出荷奨励―などの諸対策を講じ、農家経営の安定向上を図ることとしており、関係者のいまひとつ突っ込んだ積極的取り組みが期待されるところです。

小野町議会議長が急逝



町議会議長の小野昭一氏は、一月二十三日、急逝されました。六十四歳。氏は、昭和四十二年七月に東由利村

議会議員に当選し、以来十六年の長い間議会議員の職にあり、この間、五十二年七月から副議長、五十五年七月からは議長の大任を担って現在に至り、議会の適正な運営と地方自治、町勢の安定伸長に尽力されました。

また、町緑化推進委員長、社会福祉法人蔵立会理事長、県町村議会議長会評議員、町経営者協議会会長、旧下郷、東由利農業協同組合理事等の要職を歴任し、産業、民生の振興発展に力を注ぎました。心からご冥福をお祈り申し上げます。

《転作等目標面積の配分方法》

・転作目標面積 172 ha 内16.4 ha (86.94 t) 他用途利用米

1. 転作目標面積 172 ha から、他用途利用米16.4 ha を差し引いた155.6 ha を水田面積に応じて一律配分する。

・配分率 13.4%

2. 他用途利用米分を集落ごとの基準収穫量に応じて、農家別明細をつけて一律配分する。

・配分率 $\frac{\text{他用途利用米数量}}{\text{町の基準総収穫量}} = 1.4\%$

・集落の基準収穫量 $\times 1.4\% = \text{配分量}$

第12回全県ミニバス大会

の追撃及ばず



「相手に不足なし、積極的にあたれ」「ハイ」

大会優勝校を相手に堂々の戦いぶりをみせた八塩小健児



全県大会出場メンバー表

八塩小学校 (二回)

監督	阿部	武弘	番号	学年	身長
コーチ	斎藤	光正	4	6	144.5
選手	莊野	保	5	6	161.3
〃	小野	卓也	6	6	154.2
〃	佐藤	和則	7	6	150.0
〃	遠藤	哲也	8	6	150.4
〃	小野	多門	9	6	152.8
〃	佐藤	公一	10	6	132.0
〃	小松	政義	11	6	142.5
〃	佐藤	勝	12	6	145.8
〃	八嶋	誠	13	6	145.7
〃	佐藤	英之	14	6	140.0
〃	畠山	好彦	15	6	149.0
〃	小松	正和	16	6	149.0
〃	大場	浩司	17	6	148.5
〃	小松	芳孝	18	5	142.7
〃	安倍	正			

優勝校相手に光る善戦

第六回全県スポーツ少年団大会兼第十二回全県ミニバスケットボール教室交歓大会が、一月五日から三日間、秋田市の県立体育館で行われ、本荘由利地区代表として二年連続出場を果たした八塩小学校男子チームは、大会屈指の強豪チームを相手に善戦しましたが、惜しくも初戦突破はなりませんでした。八塩小は、大会初日二回戦で、秋田

地区代表の築山小と対戦。一六対三六とリードされて迎えた最終クォーター、八塩小は積極果敢な攻撃を繰り返し、その差一点一点まで追い上げましたが今一步及ばず、結局、二九対四〇で準々決勝進出はなりませんでした。しかし、対戦相手の築山小は、今大会で優勝。敗れたとはいえ、八塩小チームの健闘ぶりには大会関係者から大きな称賛の

声が寄せられました。また、会場には、児童や父兄をはじめ、地域の人たちがおおぜい応援にかけつけて選手を激励。「それいけ八塩、もう一步」の熱い声援が、広い体育館にひととき高く響きわたっていました。

試合結果

(二回戦)

築山 40

4	10	12	14
1	1	1	1
13	8	2	6

29 八塩

熱戦を終えて

心優しくたくましく

校長 塚本 ワカ

この子らのどこにこんな力があるのかと驚かされ、目を開かせられる思いのする毎日である。

郡市大会では、小さい体の全力をふりしぼってもぎとった一点で味わった勝利の快感。

県大会では、強豪築山小に本校チーム独特の切れ味のよい動きで脅威を与え、さらに試合後半の追いあげに見せた根性は、痛いほどの感動となつて伝わってきた。県下に八塩小健児の存在を印象づけたものは、何であつたろうか。一つ、伝統の力、二つは、心技一体の学校の指導方針、三つは、PTA、親の会、地域住民の理解と協力態勢であると信じている。もちろん、計り知れない子供たちの底力であることは言うまでもないが、今後とも心優しく、たくましく育つことを念じている。

監督 阿部 武弘

昨年十月の郡市大会そして本年一月の県大会を通じて、小学生らしく一生懸命試合をしてくれました。大会の規模が大きくなればなる程、強いチーム、実力のあるチームが多数出てきます。「出場」の機会を得ること、そして「勝つ」ということのむずかしさは、私たちの想

像以上であらうと思われまふ。プロ選手でもアマチュア選手でもない小学生選手の一生懸命な試合ぶりに心から拍手を贈ります。斎藤光正先生のご指導、職員及び父兄の大きな支えがあればこそその成長であります。本当にありがとうございます。

コーチ 斎藤 光正

強いチームには、必ず縁の下の力持ち的な地味なプレイヤーがいるものである。皆がスターティングメンバーに選ばれることだけを目標にして練習し、レギュラーメンバーに選ばれないことを悲観してやめてしまうようではチームはなりたない。試合に使われなくとも、チームの練習台となつてコツコツと練習に励むプレイヤーこそ、真のスポーツマンとして敬服に値する人である。チームの第一線ではなばなく活躍できるプレイヤーは、常に下積みプレイヤーに感謝し、いたわり、決してうぬぼれることのない謙虚さを持つていなければならない。これから、この気持ちで子供とともにがんばりたい。ありがとうございます。

八塩スポ少 代表指導者 小松 義嗣

選手諸君、斎藤先生始めご指導くださった皆様、親の会の皆様本当にご苦勞様でした。

町当局、地域の皆様のご支援、ご援助誠にありがとうございます。

四年連続の県大会出場を果たし、しかも初戦で敗れたとはいえ、

堂々の
入場行進ゴール下に回り込んで、鮮かなランニング
バックシュート、きまった！

八塩小男子チーム

残念！最終クォーター



↑目指すはゴール！そのけ、そのけ…

校旗を振っての熱い
声援が続くヤッター！「それいけ、八塩
ゴーゴー八塩……」

優勝チームの築山小と最後まで堂々と戦ったことは、来年度へ向けての大きな自信と励みとなったことでしょう。なおいつその心身と技の鍛錬に励み、一層の飛躍を期待してやみません。

主将 莊野 保

八塩チームの相手は、全県優勝の築山小チームでした。

試合前「こわいチームだ、でも戦ってみなければわからない、よし、本気で戦うぞ」。

さあ試合開始、一、二コーターでは、きんちようし点数に差がつくばかり。これではだめだと三、四コーターでは、夢中でつつ込みました。どんどん点差がちぢみ「これはいけるがんばろう」みんな目を大きく開き、しんけんでした。「ババーン」終わりの合図。

自分の力を十分出したみんなの顔はとつても明るく、笑っていました。応援ありがとうございました。

応援席から

応援代表 工藤加奈子(六年)

一月五日の全県ミニバスケットボール大会では、八塩小の男子チームは二年連続出場で、優勝候補と言われる築山小チームと戦いました。

手に汗をにぎり自分の事など全く忘れて声援を送りました。あの郡市大会でがんばった意地と力を出してほしい「それゴーゴー」と祈るような気持ちでした。試合は後半調子が出て来て点数も追いついていきましたが、時間でした。

選手の人はもちろん、応援の人もよくがんばりました。

PTA会長 佐藤智治郎
体育後援会長

統合してから二回目の全県大会を戦ってきました。

児童全員がバスケットボールのルールを理解し、礼儀正しく、チームプレーで全県優勝をした秋田市の築山小学校と堂々の試合をしました。子供たちは普段の練習の大切さとスポーツをする喜びを十分味わったことと思います。

全県大会出場に際し多大なご援助とご声援をいただきました町当局、地域の皆様、そして適切な指導をしていただきました先生方に感謝申し上げ、併せて子供たちの健全な成長を願うものであります。

バスケットボール
親の会会長 佐藤 貢

このたびは各方面の絶大なご援助により、ミニバスケット全県大会に出場させていただきました、誠にありがとうございました。親の会として紙上をお借りして厚くお礼申し上げます。

結果は全県優勝の築山小に一回戦で敗退しましたが、試合内容を見ますと敗けたのは前半の第2コーターまでで、後半は八塩のリードで終わりました。立派に戦ったと思います。この分だと全県優勝も夢でないことを確信いたしました。子供たちにとつても、郡大会での優勝と合わせて生涯の良い思い出、体験として小さな胸の中に残ることと思います。

ことバスケットに限らず、今後共よろしく応援方お願いいたします。

脳卒中とは…

脳卒中は「脳いっ血」「中気」「中風」とも呼ばれ、脳の血管が破れて出血したり、あるいは詰まって血液が脳に行き届かなくなる病気です。

この病気にかかると、脳の働きが衰え、急に意識がなくなったり、手足が動かなくなったりし、ひどいときには死亡することがあります。一度、脳に障害を受けると回復は難しく、手足のマヒなどの後遺症が残る場合もあります。

心臓病とは…

(虚血性心疾患)

心臓に血液が十分に行き届かなくなり、心臓の筋肉が酸素不足になって起こります。

一時的に血が流れなくなるのが「狭心症」完全に流れなくなると心臓の筋肉が活動しなくなるのが「心筋梗塞」といわれます。

いずれも、激しい胸痛を伴いますが、心筋梗塞では痛みが長く続き、死亡することがあります。

つくろう健康

2月1日～7日成人病予防週間

なくそう成人病!

二月一日から七日は「成人病予防週間」。成人病は四十代以降の人に多くみられる病気で「ガン」「脳卒中」「心臓病」などが代表的なものです。亡くなる人の多い病気ですが、ふだんの健康状態に注意していれば防げる病気でもあります。

町死因の七割強を占める

町保健婦が取りまとめた昭和五十三年から五十七年までの町死因統計によると、死亡者総数は二百四十八人。その

原因は、老衰や不慮の事故などいろいろですが、最も多いのが病死、しかも成人病です。下図でみるように、死因一位は「脳卒中」(36・7%)、次いで「ガン」(22・2%)、心臓病(14・5%)となっており、亡くなった人の七割強が、いわゆる三大成人病

が原因です。

成人病は、暴飲暴食など日常生活の無理が蓄積されて起こることの多い病気です。し

人間も手入れ次第で長持ち

成人病のうち脳卒中と心臓病だけで、死亡原因全体の約半分を占めています。

この脳卒中、心臓病の「土台」には、「高血圧」や動脈に弾力がなくなる「動脈硬化」があり、これらを予防することが脳卒中、心臓病の予防につながります。

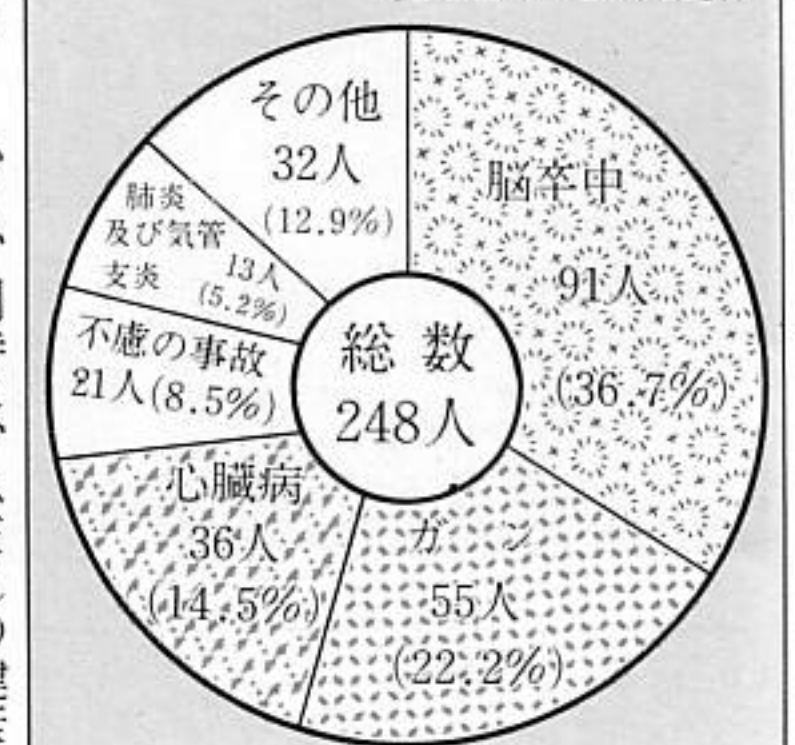
つまり、日常生活に注意をすることが必要です。

それには、規則正しい生活を送ったり、精神の安定を心がけたり、酒やタバコを控え



町の死因統計

(S.53年～57年集計)



かし、同時に、ふだんの健康状態に注意していれば、前もって防げる病気だともいえます。

たりしなければなりません。

また、食生活には特に気を付け、肉、魚、野菜などをバランスよく食べ、肥満を防止することです。調味料では、高血圧と関係がある食塩の使用を控え、一日十グラム以下を守りましょう。

このようにふだんから自分の健康状態を考えた生活をしていけば、少しの変化にも気がつき、重症になる前に治療を受けることもできます。

病気になってから健康のありがたさを知るよりも、健康な体を放っておけば「ガタ」がくることをかみしめておきましょう。

物は手入れ次第で長持ちします。人間の体もまったく同じです。一つしかない自分の体、手入れを怠りなく――。

保健婦の健康家族メモ

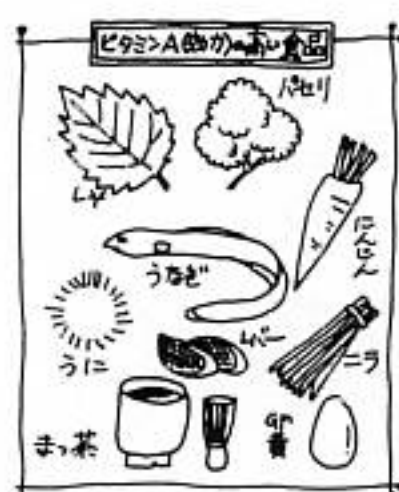
寒さは、皮膚の血流を悪くし、カサカサの肌あれやひびを切らすばかりでなく、とくに高血圧、脳卒中、心臓病、腎臓病などの循環器病を悪化させます。

寒さをのりきる体力はまず栄養から！
一、脂肪(寒さをしのぐ食物の主役)

①気温が低くなるほど多量のカロリーを消費するので、寒さがきびしいときには高カロリーの脂肪はうってつけです。

②植物性の油には、不飽和脂肪酸が多く含まれていて、血液の中のコレステロールを下げる働きをするので、動脈硬化を予防するといわれています。

二、たん白質(寒冷に対す



体力・抵抗力をつける

冬の栄養ポイント

る抵抗力を高める)

たん白質は、からだを暖めるのに役立つ栄養素です。

また、からだの抵抗力も強くなりますから良質のたん白質食品を多くとりましょう。

三、ビタミン(皮膚や鼻・のどの粘膜を強くする)

①ビタミンA:不足すると呼吸器の粘膜から細菌やウイルスが体内に侵入しやすくなるので、カゼをひきやすくなります。また皮膚を丈夫にします。

②ビタミンC:野菜や果物に含まれているビタミンCは、血管の抵抗力を強め、とくに冬に起こりやすい脳卒中などの予防にも有益といわれています。また粘膜の強化にも役立ち、カゼを予防します。

栄養には、案外に無関心の人が多いようですが、特に家族の健康のカギをにぎる主婦がそうであっては困ります。

好き、嫌い、うまい、まずいなどとかくいわれられても、主婦はやっぱり、「つくる人」です。一家の「たべる人」たちの期待をになつて、健康づくりのために、食生活においても活躍したいものです。



税金の申告相談は次の日程で

税金の申告相談を次の日程で行います。申告書は、町・県民税等の賦課資料となる大事なものです。昭和58年中の収入明細や支払証明書等を準備し、正しい申告をしましょう。出稼ぎ者や会社員等で勤務先から源泉徴収票を交付されている方は、確定申告をすることによって、納め過ぎた所得税が戻されることもあります。詳しくは、税務係にお尋ねください。

受付時間			午前(9時から11時まで)		午後(1時から3時まで)	
月	日	曜	自治会名	会場	自治会名	会場
2	15	水	向田、智者鶴 (松台除く)	向田会館	葎沢、黒淵、 地下ノ沢	八塩館
			泡ノ淵、松台	泡ノ淵会館		
	16	木	田代、石高	福祉館	高戸屋、下小屋、 時雨山	福祉館
	17	金	三税共同申告 相談	有鄰館	午前と同じ	有鄰館
	20	月			黒沢、大台	黒沢会館
					須郷田	児童館
					板戸	会館
	21	火	家ノ下、下小路、 宇戸坂、館西	玉米支所	八日町、五海保、 山崎、久保	玉米支所
	22	水	下通、湯出野、 寺田、茂沢、上里	役場	新町、横小路、 上通、中通	役場
	23	木	所得税	役場	午前と同じ	役場
	24	金	所得税	役場	午前と同じ	役場
	27	月	祝 沢	会館		
			横渡、岩館	大蔵館		
3	28	火	小 倉	児童館	中ノ沢、高村	小倉児童館
			野田、新処	克雪センター	十二ノ前、桂台	克雪センター
	29	水			宿	会館
					下吹	会館
	1	木	館合新田	有鄰館		
			須郷	会長宅		
			高屋	会館	土場沢	会館
	2	金	舟木	会館	畑村、奥ヶ沢 (2時まで)	舟木会館
			大琴(上・中)	高瀬館	大琴(下)	高瀬館
	5	月	所得税	役場	所得税	役場
	6	火	所得税	役場	所得税	役場

東由利の地名

= 44 =

遠藤家文書(重和先生は本荘市在住)に「文禄年中米本館・根城館ともども落城し、玉米・下村も滝沢刑部殿の領分になった(約二〇年)。當時八日町から滝沢(由利町)への道筋があり、御国巡りの時今の宿村にて、人足・馬をつぎたてし事があるによつて、宿村といひしなり」とある。しかし、このときはじめて呼ばれたのではないらしい。そのことは、慶長十七年(一六二二)の由利郡中慶長年中

比見検地帳に、下村郷に下里村があり、正保三年(一六四六)の出羽国油利郡之内知行高帳には、下里の名がある。元禄十五年の記録にもある。天保六年(一八三五)の御領分村名覚に「昔は下里之由、何頃より宿村と唱たかは知らない」とあることから、宿村といひしなりとあることがわかるのでないか。ところどころ地名辞書下巻に「天和二年(一六八二)領主生駒家の臣が、法内山より木材を伐出し、法内・蔵・宿の三村で法内中山にあった八幡宮を再建したことや、宿をば

宿

俗に宿大琴村とも呼ぶことや、宿とは助川駅の遺唱に出づるのではないかとある。この助川駅(当時の駅とは中央の政庁の連絡拠点であつて、物資の運搬や連絡等から定められた人・馬が置かれた所)は幻の駅といわれ、いまだにどこか決定づけるものはないが、天平宝字三年(七五九)に置かれた。もしこれが大字の宿のどこかだとの根拠につながるものが見つかれば、東由利にとってはたいへんなことである。(文・畑山昭一)

所得稅の確定申告はお早めに

昭和五十八年分の所得稅の確定申告は、二月十六日から受付が始まります。

今年から申告用紙が変わり、一般用申告用紙に住民稅用が加わったため、申告書は提出用①、提出用②の二枚セットと控用の三枚になりました。したがって、申告の際は、提出用①②の二枚セット分を切り離さないで提出していただくこととなります。

申告期限は三月十五日ですが、期限間近になりますと税務署はたいへん混雑します。落ち着いて相談できなかった

り、長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、できるだけ早く済ませるようにならねばならない。

サラリーマンの確定申告

確定申告を

①給与の年収が一千万円を超える人

②給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が、二十万円を超える人

③給与の支払いを二カ所以上から受けている人——など

税金が戻る人

①災害、盗難、横領などで、住宅や家財に損害を受け、その損害額(保険などで補

てんされた金額を除く)が所得金額の一〇%を超える人など

②病気やけがなどで、多額の医療費(保険などで補てんされた金額を除く)を支払った人、ただし、美容整形や健康診断の費用、健康増進のためのビタミン剤などは、医療費に含まれません。

③住宅を新築したり、購入した人で、民間の金融機関等から住宅ローンの融資を受けている人——など

分らない点がありましたら、お気軽に本荘税務署税務相談室、町税務課にお尋ねください。

2月(如月)のこよみ

曜 日	行 事
1 水	
2 木	成人病予防学級
3 金	
4 土	
⑤ 日	
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	
⑪ 土	建国記念の日
⑫ 日	
13 月	ことぶき大学修了式
14 火	
15 水	町県民税申告相談(～3月6日)
16 木	
17 金	三税納税相談(有隣館)
18 土	
19 日	出稼ぎ者激励懇談会(東京都)
20 月	
21 火	町長面会日
22 水	乳児検診
23 木	
24 金	畜産講演会(9:30～有隣館)、妊婦検診
25 土	農業委員会
26 日	
27 月	
28 火	
29 水	
摘 要	

お知らせ

町の概要 12月

☆人口()内は前月との比較
計 6,227人(+1)
男 3,070人(+3)
女 3,157人(-2)
☆世帯数 1,428戸(-2)

()内は1月からの累計

■出生 1人(70)
■死亡 2人(47)
■転入 7人(134)
■転出 5人(227)

○面積 148.51km²
○東西 15.3 km
○南北 14.6 km

交通災害共済

万一に備えぜひ加入を！

昭和五十九年度の交通災害共済の受け付けが二月一日から始まります。共済期間は、毎年四月一日から三月三十一日までとなっています。

この制度は、強制でなく任意加入となっており▽掛け金が一人年三百円と安いこと▽

加入・災害共済金請求の手続きが簡単なこと▽支払いが早いこと――などが特長です。

災害共済金は、自動車・オートバイ・自転車などに乗車中、または歩行中に交通事故などにより死傷したときに支給されます。

共済金額は、死亡の場合百万円、傷害の場合一万二千元(一週間以上の治療を要する傷害)から八十万円まで傷害の程度により違います。

また、この交通災害共済には、交通遺児等奨学援助金制度が設けられており、加入しているお父さんやお母さんのいずれかが交通事故によって死亡したり、共済金額表の二等級(重度の傷害)に該当したときは、その人の遺児に幼稚園から高校卒業(四歳から十七歳)まで一人月額四千元が支給されます。

この制度に加入できるのは、町内に住んでおり住民基本台帳に登録されている人です。申し込み用紙は、自治会長さんを通じて配布しますので、万一の事故に備え家族全員が

加入することをお勧めします。詳しいことは、住民課交通災害共済担当へお問い合わせください。

農業基本調査

にご協力を！

2月1日現在で調査「秋田県農業基本調査」が、今年も二月一日現在で行われます。

これは、農業の実態を調査し、県や町の農業行政の基礎資料となるものです。個々の調査結果は、統計法によって秘密が守られ、個人の不利益にならないよう保障されています。

調査員が各農家を訪問しますので、よろしくご協力をお願いします。

NHK学園

通信教育であ

なたも学習を

【高等学校・普通科コース】

NHKの放送を利用して、働きながら高校卒業の資格をとりた方。

○入学資格 中学校卒業、卒業見込みまたは同等以上の学力のある方

○受付期間 3月1日から4月14日まで

【高等学校・教養コース】

高等学校レベルの知識と教養を身につけたい方に。

○受講資格 15歳以上の方

○受付期間 3月1日から4月30日まで

【社会通信講座】

この講座の利点は、レポートの添削が中心で、だれでも自宅にいながら都合のよい時間に自分のペースで学べます。

○講座 書道・硬筆・母と子の硬筆・俳句・短歌・古典・文章・絵画・囲碁・簿記・英語・数学・国語の13講座39コース。

○受講資格 どなたでも

○受付期間 2月1日から4月20日まで。

※ 詳しい案内書をご希望の方は、NHK秋田放送局、またはハガキに・普通科コース・教養コース・社会通信講座の別と氏名、住所、電話番号を記入のうえ、左記に請求してください。(案内書は無料)

〒186 東京都国立市富士見

新春将棋大会

町将棋愛好会主催、1月3日・役場日本間

参加者：十二人、リーグ戦

優勝 小野裕明(宿)▽準優勝 柏木謙(秋田市)▽三位 阿部力(本荘市)

社福だより

八日町の佐藤潔さんから亡房治氏の香典返しとして金一封が届けられました。

故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

福祉増進に役立てて――と本荘市鶴舞ライオンズクラブ(高原金之助会長)から、チャリティバザー収益金の一部が贈られました。

慶弔だより

12月21日～1月20日受付

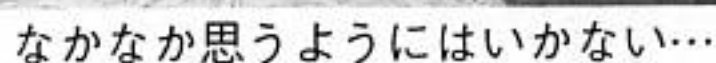
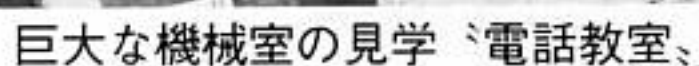
(敬称略)

○うぶ声

小野 優 時雨山 悟 長男
畠山 正幸 下通 茂 二男
小野 好 館新田 泰好 長男
保泉 香織 大琴 正悦 長女
鈴木 麻衣子 大琴 誠治 長女

・お悔み申し上げます
太田 精次郎 蔵新田 86歳

KK本間印刷所



|| 老人と子どもがつどい ||

講師役は町ことぶき大学の老人で、指導を受けたのは町内の小学四年生約七〇人でした。

老人たちの器用な手つきに感嘆しながら、親切な指導を受けた子どもたちは、挑戦開始から二時間かけて最高十六

A black and white photograph showing a man in a dark suit and tie pointing at a book on a long table. The table is covered with several books and pamphlets, some of which have illustrations. To the right, a woman in a light-colored jacket is looking at the books. In the background, a banner with Japanese text is visible. The scene appears to be an exhibition or a book fair.

スポ少 交流会

町内四小学校的スポーツ少年団員が一堂に会して親睦を深め合う「スポ少交流会」が一月十二日、八塩小で開催され、総勢一八〇人の団員が参加しました。

午前中は、ワンバウンドバレーなど、これまでどの少年団も取り組んでいない種目の交歓ゲームに汗を流しました。

新種目にもすぐに慣れ、ふだんの活動とは違ったリラックスした表情で伸び伸びとゲームに興じていました。

午後は、町出身で各界で大きな業績を残した先人たちについて学ぶ「ふるさと学習」の時間とし、伝記や石碑等から、町公民館がまとめた資料に目を通し、偉大な業績を遺した人たちが輩出していることに驚いていました。

今季もう四回実施

町公民館が主催したナイタースキー教室は、三日間で約百三十人の受講者があり、好評を博しました。

大平スキースクールではこうした人たちを対象に今季さらに四回のパッチテス

トを次により実施すること
にしており、多数の受講を
のぞんでいます。

▼期日 2月5日。同19日。
同26日。3月4日。

▼場所 大平スキー場

▼日程 各日とも現地で9
時～受付。10時～講習。
13時～検定。

▼受講料 各級ごとに別。

新
規
購
入
図
書